

松本市地域づくり推進交付金実績報告書（抜粋）

（申請者） 白板地区住みよい町づくり協議会

1 交付決定額

I	金 600,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名： 白板地区住みよい町づくり協議会事業（継）	
実施主体	白板地区住みよい町づくり協議会
実施日（期間）	平成31年4月1日～令和2年3月31日
実施場所	白板地区内
事業概要	<p>1 部会の活動 前年度に引き続き、3つの部会に分かれて課題を検討し、具体的な取組みにつなげた。6月から2月までに4回の部会を開催し、部会の後には情報共有のため全体での会議を行い、相互の協力体制を構築した。 「防災隊」……防災意識の向上と災害時に助け合える体制づくりを進める。 「すこやか隊」…高齢者など困難を抱える方が安心して暮らせる支えあいの仕組みづくりに取り組む。 「つながり隊」…子どもの支援と住民同士の交流の充実をはかる。</p> <p>2 学習会の実施 委員の意識向上のため、部会開催の際に学習会を行った。 (1) 「地区生活支援員の役割について」（6月） 講師：松本市高齢福祉課 丸山 花代子 課長補佐 (2) 「要援護者の避難について」（7月） 講師：須澤 博一 医師 (3) 「子どもの権利について」（10月） 講師：松本市子ども育成課 藤森 千穂 課長補佐</p> <p>3 部会の企画による具体的な取組み (1) 100えんカフェの開催（4月～3月） (2) やきいも大会に向けたサツマイモの栽培（5月～10月） (3) 買物支援事業をモデル町会で実施（10月） (4) 認知症サポーター養成講座の開催（11月） 講師：中央地域包括支援センター 松崎 奈江 保健師 (5) 子どもの見守り活動試行（12月～3月） (6) その他の取組み ・雪かき支援の啓発チラシ回覧 ・交流事業（運動会等）への支援 ・年間カレンダーの作成</p> <p>4 会報の発行 協議会の活動を広く地区住民に知らせるため、公民館と福祉ひろばの便りを一元化し、協議会と地区内の情報をも掲載する「白板地区だより」を毎月発刊した。</p>

地域づくりの 成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・部会ごとに課題の検討を行うことにより、出席者全員に発言の機会があり、意見が活動に反映されたほか、他町会の状況も知ることができ、各委員の問題意識が深まった。 ・部会で課題解決のための話し合いができ、具体的な活動につながった。 ・協議会の情報を掲載して、毎月発行した「白板地区だより」が、活動を住民に伝える機会となった。 			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・各部会で検討された課題解決に向けて、協議会の委員だけではなく、地区住民を巻き込んで取り組む工夫が必要である。 			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
	363,335円	a	b	c
		350,975円	11,157円	1,203円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名： 地域の防災体制の整備事業（継）				
実 施 主 体	白板地区住みよい町づくり協議会			
実施日（期間）	平成31年4月1日～令和2年3月31日			
実 施 場 所	白板地区内			
事 業 概 要	<ol style="list-style-type: none"> 1 部会の一つである「防災隊」において、備蓄品や災害時の対応策を検討した。 2 各町会へ出向く「防災出前講座」を企画して実施した。（10月～） 3 地区住民の防災意識向上のため 防災講演会を開催した。（11月） 講師：NPO法人さくらネット代表 石井 布紀子 氏 演題：「命を守る支えあいの仕組みづくり」 4 災害時や避難訓練等の際に使用する、炊出し用の大釜を整備した。 5 各町会において、災害時の一時集合場所や要援護者宅を明記するなどして作成した防災マップの見直しをおこなうとともに、作成に至っていない3町会のうち1町会で完成することができた。 			
地域づくりの 成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・全国で活躍する講師を招いて先進的な講演を聴くことができ、参加住民の防災に対する意識向上につなげることができた。 ・地区に整備されていなかった非常時の炊き出し用釜が購入でき、住民の安心につながるとともに、有事に迅速に対応できる体制が整った。 			
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・防災マップについては、作成に至らなかった2町会について、早期に完成するよう協議会として支援するとともに、防災には住民同士の日頃のコミュニケーションが重要なことを引き続き地区内に広めていく必要がある。 			
決 算 額	a + b + c	財 源 内 訳		
	580,581円	a	b	c
		60,581円	円	520,000円

※ 事業が4以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

決 算 額 (計) (①+②+③)	A + B + C	財 源 内 訳		
	943,916円	A	B	C
		411,556円	11,157円	521,203円

A : 各事業の a の合計額

B : 各事業の b の合計額

C : 各事業の c の合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

事業名： 災害対策資金積立事業					
積立目的	災害発生時などの緊急時に対応する経費及び災害に備える体制づくりのための経費に充当する				
積立期間	平成27年度から平成31年度まで（本年度 5年目）				
積立ての目標金額	662,092円				
積立実績	区分	積立額	積立事業への積立金充当額	差引累計	
	前年度までの積立経過	1年目	102,092円	円	102,092円
		2年目	20,000円	円	122,092円
		3年目	180,000円	円	302,092円
		4年目	180,000円	円	482,092円
		5年目	円	円	円
	本年度の積立実績	D 180,000円	E 520,000円	F 142,092円	
合計額	662,092円	520,000円			
本年度積立金を充当して実施した事業の概要					
実施主体	白板地区住みよい町づくり協議会				
実施日（期間）	平成31年4月1日～令和2年3月31日				
実施場所	白板地区内				
事業概要	災害時や防災訓練等の際に使用する炊き出し用の大釜を購入				
地域づくりの成果・効果	災害など非常時の備えが整い、住民が安心して生活できる環境整備につながった。				
決算額	E + G	財源内訳			
	577,720円	E 520,000円	G 57,720円		
充当後の積立事業取扱方針					
積立継続（令和5年度まで）・ 廃止					
廃止する場合は、積立金残高（F）の処理方法					

E：充当した積立金の額

G：その他の財源の額

※ 事業が2以上ある場合は、枠を増やして記載すること。

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I - A - D	金	8,444円
-----------	---	--------

[参考]繰越上限額 = $I \times 2 / 10$